

第5回水稲病害虫発生予察結果

5 月上旬田植えの早生品種[コシヒカリ・キヌヒカリ等]の生育状況

生育はおおむね順調です。生育の早い圃場では穂が出始めています。

7 月 23 日頃には、穂揃い期(田んぼの 90%から穂が出る時期)を迎えると考えられます。この時期は、米粒の充実、肥大のため、**水を必要とする時期**となりますので、水を切らさないように^{かんたんかんすい}間断灌水を行きましょう。

間断灌水のやり方

- ①水深が 2~3cm 程度になるまで水を入れましょう。⇒水が溜まったら、水を止めます。
- ②田んぼの水が減り、土面が出てきたら、①と同様に再び田んぼに水を入れます。
- ※①と②を繰り返すことで、穂を作るのに必要な『水』と、根に適度な『酸素』を与えることが重要となります。

5 月下旬田植えの晩生品種[あいちのかおり SBL 等]の生育状況

生育はおおむね順調で、中干しを行っていました。

中干しには...

- ①穂がつかない無駄な分けつ[無効分けつ]を抑える効果
- ②土の中の有害なガスを抜いて根に酸素を与える効果 があるため、軽くヒビが入る程度まで行いましょう。

各地区の主な病害虫発生状況

今回の調査では、穂が出始めたため、カメムシの発生が見られました。カメムシによる食害を受けると斑点米になりますので、確実に防除を行きましょう。薬剤散布のタイミングは **60~90%の穂が出たときに 1 回目、その 7~10 日後に 2 回目**の散布を行きましょう。薬剤は、できるだけ、**早朝(9 時まで)**もしくは**夕方(17 時以降)**の散布をお勧めします。これは、日中の暑いときはカメムシが株元にいるため、薬がかかりにくいので、涼しい早朝か夕方に散布します。

当産地に多いカメムシ



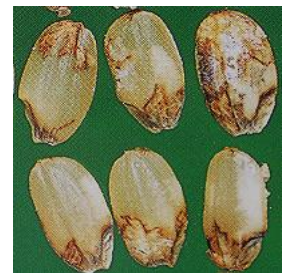
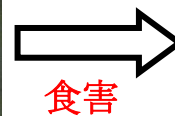
ホソハリカメムシ



イネカメムシ



クモヘリカメムシ



斑点米

水稲のカメムシ防除に登録のある薬剤

| 病害名 | 薬剤名 | 使用量 | 使用時期 | 使用回数 | 使用方法 |
|-------|---------|---------|---------|------|------|
| カメムシ類 | トレボン 粉剤 | 3kg/10a | 収穫7日前まで | 3回 | 散布 |
| カメムシ類 | スタークル粉剤 | 3kg/10a | 収穫7日前まで | 3回 | 散布 |